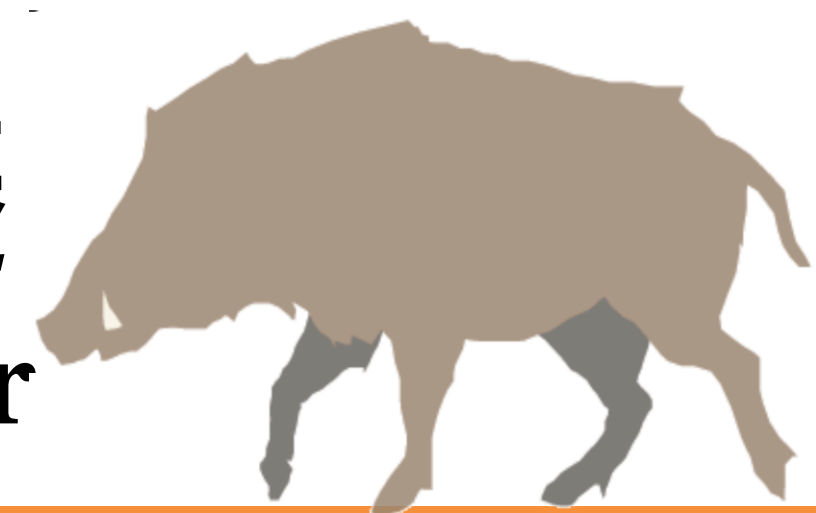


イノシシの生息域・被害の拡大に伴う新聞記事内容のトレンド変遷

Trends in newspaper articles on wild boar



金沢大学
KANAZAWA

岸岡 智也

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

【キーワード】 イノシシ・新聞記事

研究の内容

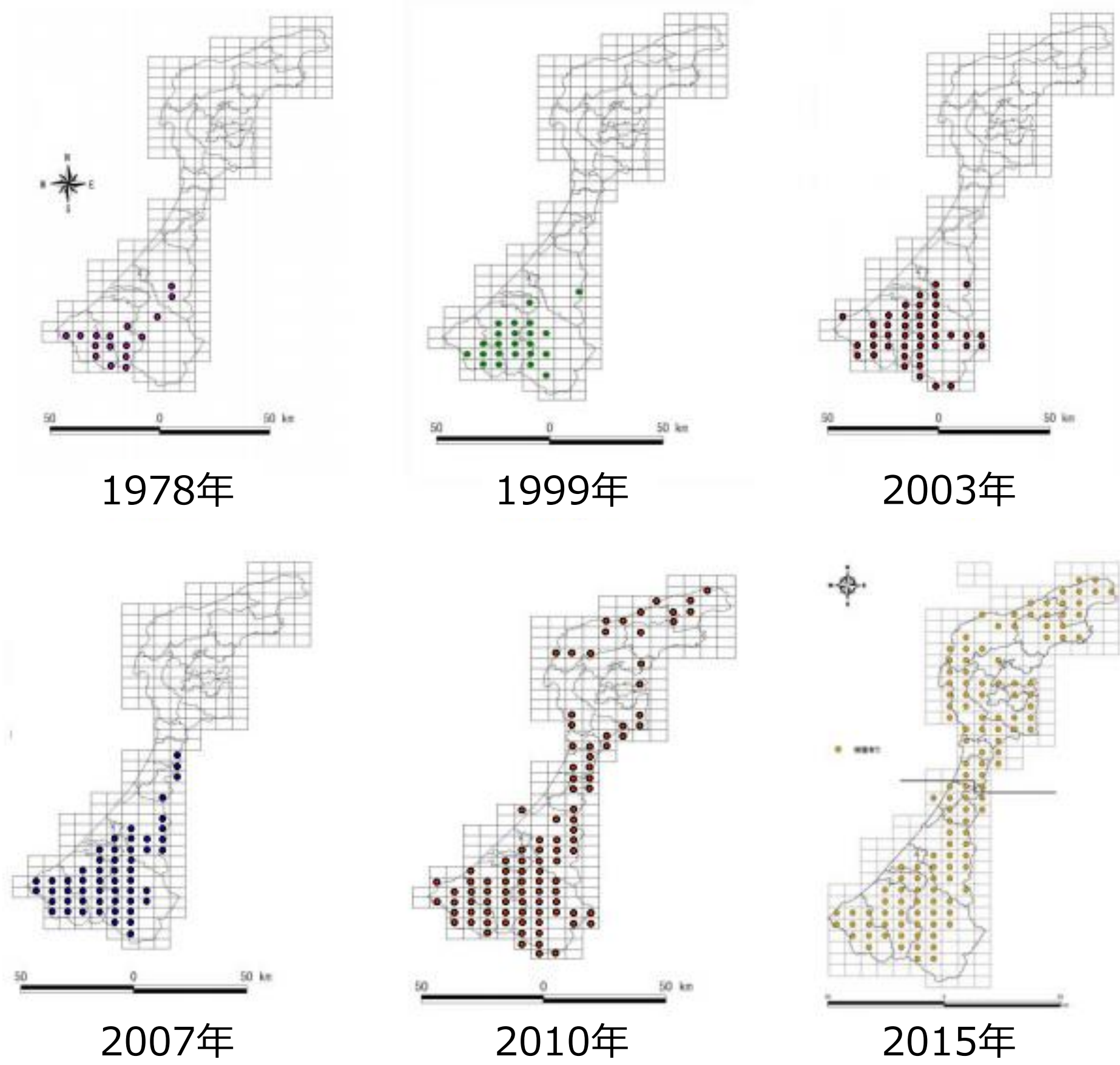
野生動物の生息域や被害の拡大に伴って、一般市民および行政の関心の内容や被害対策の取組み内容がどのように変遷するのかを把握することを目的として、新聞記事の内容分析を行った

対象地：石川県

石川県におけるイノシシ

- ・ 昭和初期には一度絶滅したとみられている
- ・ 1990年代より分布が再拡大し、その後2010年ごろまでに県内全域に拡大
- ・ 近年では市街地での出没や人身被害も発生

石川県におけるイノシシの分布状況の推移
出典：石川県（2017）「第2期イノシシ管理計画」



方法

「北國新聞※データベース」を用いた分析

- ・ キーワード「イノシシ」が含まれる新聞記事（記事タイトルor本文）を抽出
- ・ 1995年-2020年の記事を分析対象
- ・ 記事内の記述から「生息」・「被害」・「対策」・「利活用」・「その他」の各カテゴリに分類
- ・ 2752記事を分析の対象
 - ・ 抽出された全3348記事のうち、本文非公開107、内容がイノシシ被害・対策に無関係な489を除外
- ・ 豚熱(CSF/ 豚コレラ)に関する記事は区別して整理した

分類に用いたカテゴリ

生息	分布拡大 出没
被害	農業被害 森林被害 人的被害 その他被害
対策	被害防除 生息地管理 個体数管理 対策予算 対策全般・その他 捕獲個体処理
利活用（ジビエ等）	利活用（ジビエ等）
その他	その他
豚熱(CSF/ 豚コレラ)	豚熱(CSF/ 豚コレラ)

※北國新聞:

石川県での発行部数は約30万部（朝刊）で、県内シェア61.3%（2019年）
（引用：日本ABC協会「新聞発行社レポート」）

記事のカテゴリ分類について：

- ・ 記事の主題に関わらず、イノシシについて言及されている部分の内容により分類を行った
- ・ 下記の基準により、各記事に1つのカテゴリを当てはめた
- ・ 複数のカテゴリの内容が含まれている場合には、①最も記事の主題に沿った内容、②最も強調して記述されている内容、の優先順位でカテゴリを選択した

結果

■記事数の推移（上図）

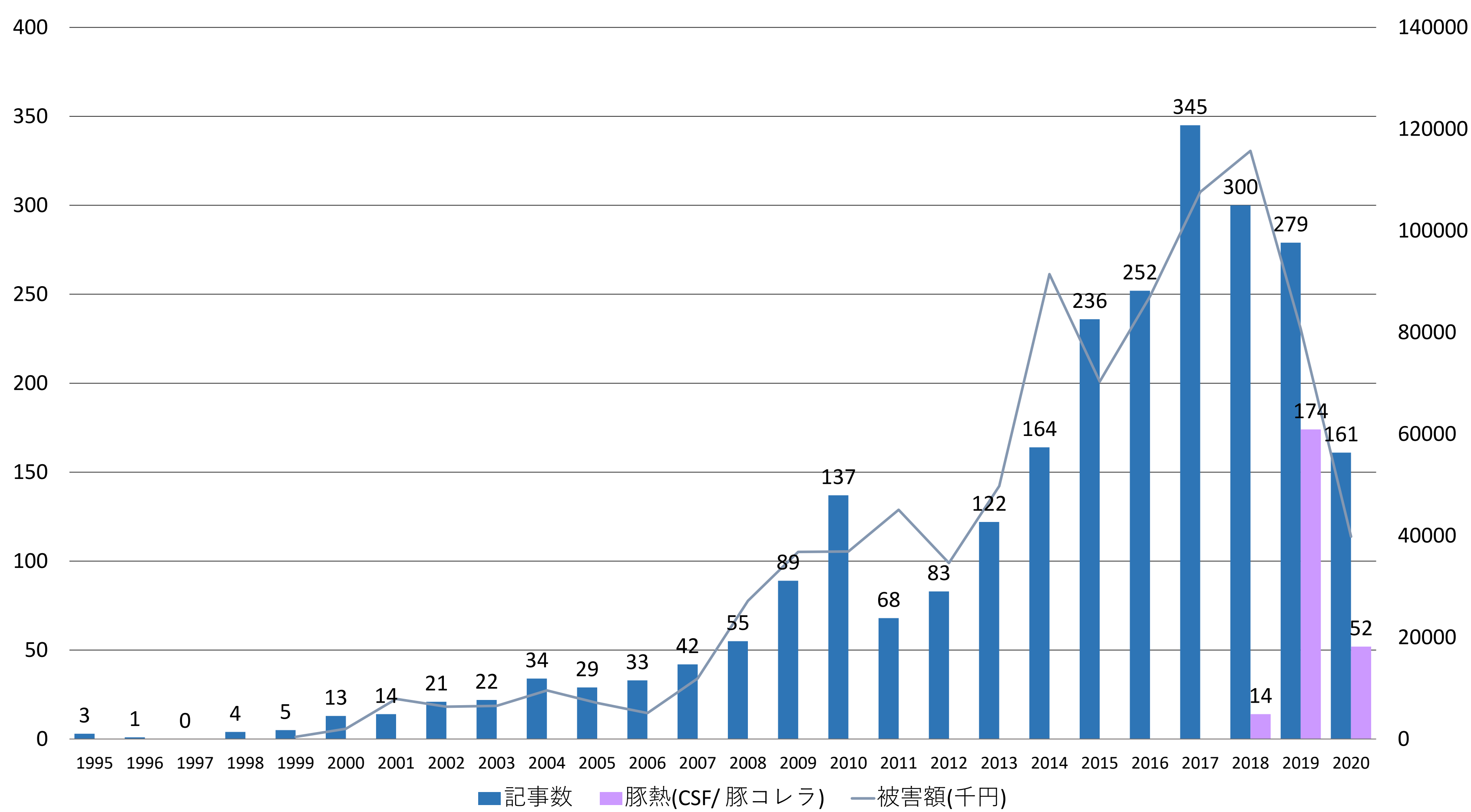
- ・ 生息域・被害の拡大とともに記事数も増加していた
- ・ 農作物被害額の推移とリンクしており、イノシシへの関心は被害の状況と強く関係している

■記事の内容の推移（下図）

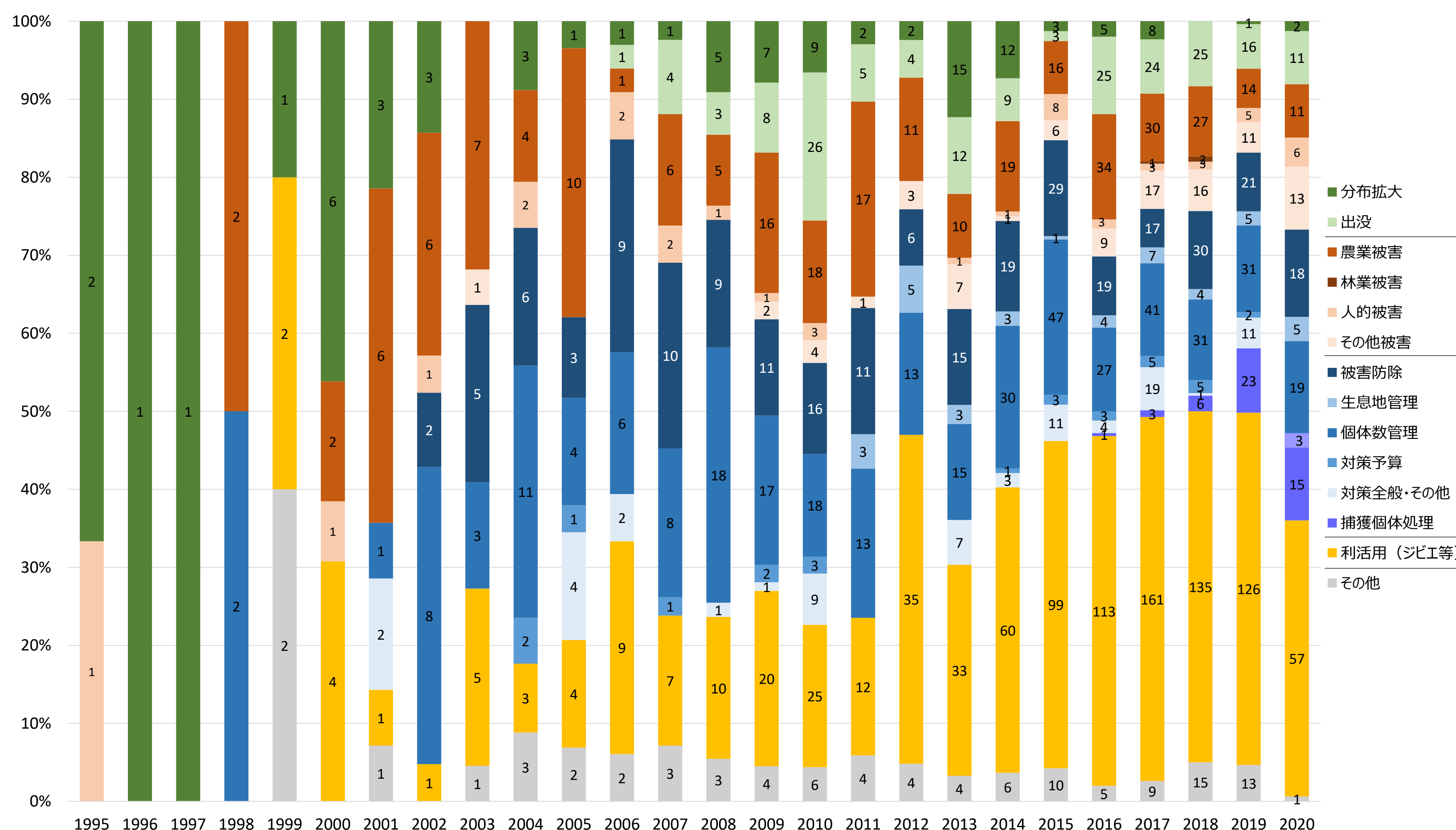
- ・ 生息域の拡大初期では「分布拡大」や「農作物被害額」に関する記事が多く、中期から後期にかけて特に「利活用（ジビエ等）」に関する内容が多い
- ・ 「利活用（ジビエ等）」について、初期から民間での取組みが行われていたが、県が2014年からジビエ推進に関する取組みを開始して以降、記事数が大きく増加した
- ・ 「出没」について、中期では新たに分布が拡大した地域での目撃情報だが、後期は市街地での出没に関するものが多い

地方紙における情報普及の可能性

- ・ 地方では地方紙が情報収集の重要なツールであり、被害の拡大に先んじて対策や先進的な取組みについての情報を提供する役割が期待される



「イノシシ」に関する記事数の変遷とイノシシによる農作物被害額の推移



各カテゴリの割合の変遷

謝辞：本分析にあたってデータ整理にご協力いただいた、木下靖子氏、小林秀輝氏、僧野達己氏、豊田桃子氏、松田咲香氏、松本京子氏(50音順)に感謝申し上げます。